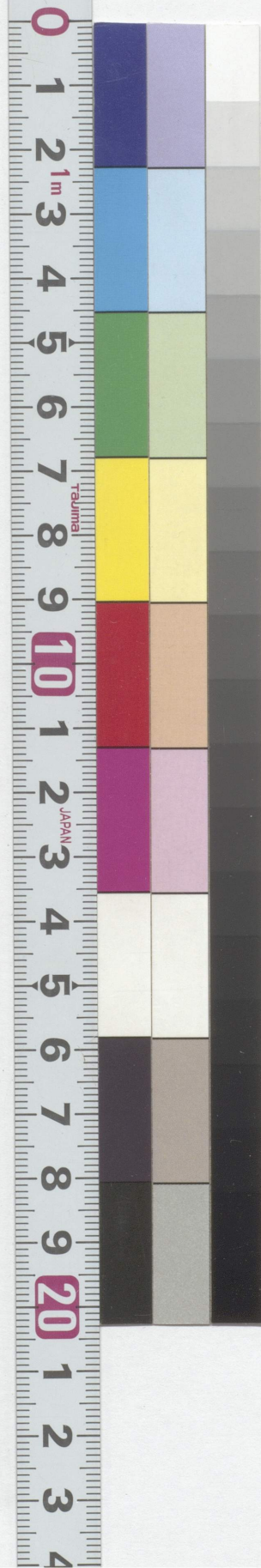


西算雜題百種

完



明治七年一月刊行

竹中信平編次
伊東静齋畫圖

西算雜題百種 完

甕峰山堂藏版



ひま

近來著述の書物を見るに皆云く童蒙の
便す幼学の爲にと然れども其文ハ雅
なるに似る目なきぬ漢語を交しへる意味
ハ深きが如く耳たれぬ高論多し文れ如
く此上幾子の書物を板りてもとも真
能く童蒙婦女の便を爲し全く遠境僻地
の益と成るの期ならんとす是亦近來著
書家の傳染病なり今此書の如きハ

百算雜題百種

甕峰山堂

より著述は意なくして成るは以て幸は
此病氣ありし蓋し竹中氏曾て算法を童
児に教ふる其見やよくさとりやとて眼前
の事日用此物を以て題となし数月ならび
して既百條は餘り予見て是は進め
る云はく算術ハ萬学の根本なり天文地理
より士農工商の事なるを皆此学は依
らざれば能く其業を成る事なし今此内

より尤も初学の手ほどきと成るべき物百題
を擇出して以て板行せば大に童蒙婦女
便にして遠境僻地の幸ならん竹中氏
は予が言は從ふ昨日彫刻既成る仍て其
大意を述る是が序文を作る事件の如し

明治六年十二月二十一日

吟香 岸國華

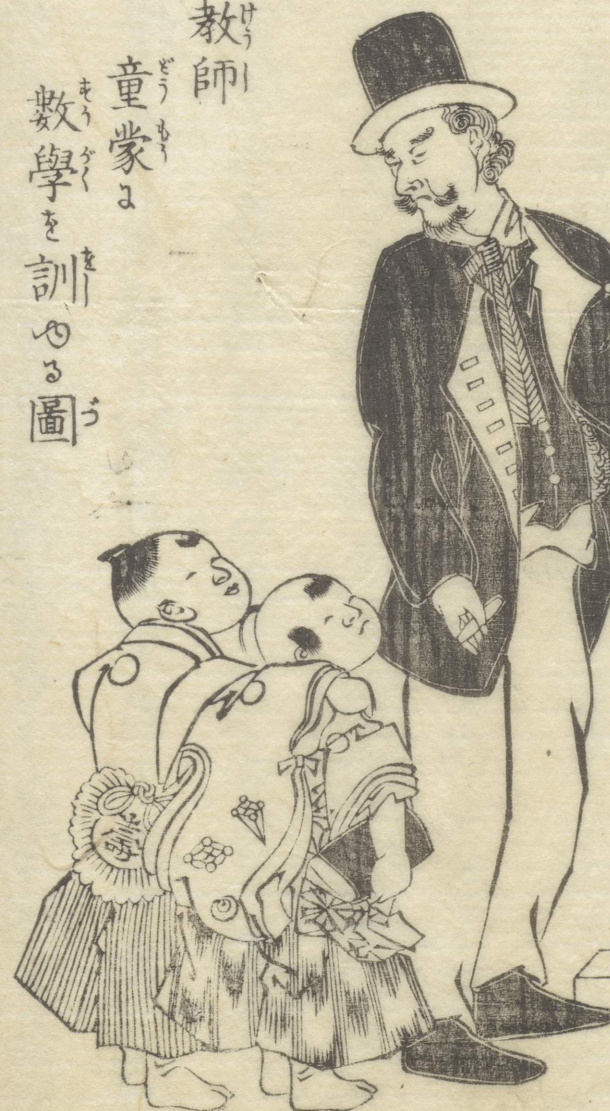


秋原任助太郎

教師

童蒙

數學を訓ゆる圖



西洋數字

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

十一 × : ✓ 13 = () 記號
 加 減 乘 除 開平 開立 等 括弧

5 6 7 3 4 2 8 1 9 5 7 6 2 3 定位式
 十 兆 千 百 十 億 千 百 十 萬 千 百 十

五 六 七 三 四 二 八 一 九 五 七 六 二 三
 十 兆 千 百 十 億 千 百 十 萬 千 百 十

378 + 586 = 964
 378 + 586 = 964
 24 + 53 = 77
 24 + 53 = 77
 加法 又ハ寄
 又ハ寄
 又ハ寄

1345 - 557 = 788
 1345 - 557 = 788
 57 - 25 = 32
 57 - 25 = 32
 減法 又ハ引
 又ハ引
 又ハ引

乗法 うけ 又 また 掛 か と書 か け

八十三は四を掛くる法

答三百三十二

$$\begin{array}{r} 83 \\ \times 4 \\ \hline 332 \end{array}$$

又 $83 \times 4 = 332$ と記しあり

除法 わり 又 また 割 わ と書 か け

六まで三百五十四を割

答五十九

$$\begin{array}{r} 6 \overline{) 354} \\ \underline{30} \\ 54 \\ \underline{54} \\ 0 \end{array}$$

又 $354 \div 6 = 59$ と記しあり

小數加減乗除

一位數と小數の間は
小數点「 \cdot 」を記し

加 減 乗 除

$$156.4 + 3.2 = 159.6$$

$$13.6 - 1.4 = 12.2$$

$$143.2 \times 3 = 429.6$$

$$2.5 \div 0.5 = 5$$

$$\begin{array}{r} 5463 \\ \times 34 \\ \hline 21852 \\ 16389 \\ \hline 185742 \end{array}$$

又 $5463 \times 34 = 185742$ と記し

五千四百六十三は三十四を掛くる法
答十八万五千七百四十二

$$\begin{array}{r} 35 \overline{) 13545} \\ \underline{105} \\ 304 \\ \underline{280} \\ 245 \\ \underline{220} \\ 25 \\ \underline{25} \\ 0 \end{array}$$

又 $13545 \div 35 = 387$

三十五まで一万三千五百四十五を割る法
答三百八十七

西算雜題百種

涌谷 竹中信平 編次

三 或人十七歳の時、生國を出、其後八年過て

一子を生み、其子ハ四十六歳ニして死、其の後

四十年過ると云ふ其の人の年齢何程ある哉

答曰百十一歳

術曰十七ハ八を加へ二十五を得、又四十六を

加へ七十一を得、又四十を加へ百十一を得る

あり

$$\begin{aligned} 17 + 8 &= 25 \\ 25 + 46 &= 71 \\ 71 + 40 &= 111 \end{aligned}$$

三 紀元一千八百五十年、當りて亞墨利加合衆

三

$$\begin{array}{r}
 23191876 \\
 -305050 \\
 \hline
 22886826
 \end{array}
 \qquad
 \begin{array}{r}
 629444 \\
 -324394 \\
 \hline
 305050
 \end{array}$$

國の人民二千三百十九萬一千八百七十六人あり然るは其の前年六十二万九千四百四十四人生じ三十二万四千三百九十四人死に今前年の人數を問ふ

答曰二千二百八十八万六千八百二十六人
 術曰六十二万九千四百四十四より三十二万四千三百九十四を引餘り三十万五千五十を二千三百十九万一千八百七十六より引二千二百八十八万六千八百二十六人を得るあり
 三或人馬一匹を金百五十圓にて買ひ又馬車を

三

$$\begin{array}{r}
 390 \\
 -387 \\
 \hline
 3
 \end{array}
 \qquad
 \begin{array}{r}
 150 \\
 +175 \\
 \hline
 325
 \end{array}$$

百七十五圓にて買ひ馬道具を六十二圓にて買ひ共三百九十圓にて賣る時ハ其の利益何程ある哉

答曰三圓

術曰百五十圓と百七十五圓と六十二圓とを加へて三百八十七圓を得之を三百九十圓より引き三圓を得るあり

四四人の身上を問ふ又甲ハ所持金七百三十五圓乙ハ所持金二百三十八圓丙ハ借金二百六十一圓丁ハ所持金無し亦借金ありと云今四人

四

$$\begin{array}{r} 973 \\ - 261 \\ \hline 712 \end{array} \quad \begin{array}{r} 735 \\ + 238 \\ \hline 973 \end{array}$$

$$\frac{712}{4} = 178$$

さて此金を平均すきを各何程ある哉

答曰百七十八圓

術曰七百三十五圓を二百三十八圓を加へて
九百七十三圓を得て其の内二百六十一圓を
引き餘り七百十二圓を四にて割り百七十八
圓をぬるなり

五東京より小田原まで大約二十里あり然る
は甲の飛脚ハ一時は三里宛の割合にて東京よ
り小田原は向て發足し又其の後二時過きて乙
の飛脚小田原より東京は向て一時は四里宛の

五

$$\begin{array}{l} 3+4=7 \\ 4 \times 2=8 \\ 20+8=28 \\ \frac{28}{7}=4 \end{array}$$

割合にて發足し然らば甲發足せし時より何時
過きて五は相逢ふべき哉

答曰四時

術曰三里と四里を加へ七を得又四里を二時
は掛け八を得之を二十里は加て得る所の二
十八を七にて割り四時を得るなり

六

$$123 \times 3 = 375$$

六鯨尺一尺ハ曲尺一尺二寸五分は當る今鯨尺
三尺にてハ曲尺何程は當る哉

答曰三尺七寸五分

術曰一尺二寸五分は三尺を掛け曲尺を得也

1142 x 45 = 51390 ㉔

51390 / 6 = 8565

142 / 30 = 3 34/30

8565 / 60 = 142 45/60



㉔ 響の速さハ一秒時間ハ一千百四十二尺を達

リ今遙ウハ砲發の光を見て後
四十五秒マ一て其響を聞く時
ハ其距離何程なる哉一階尺
六十六間を一回ハ三十

答曰三里三十四丁四十五間
術曰一千百四十二尺ハ四十
五秒を掛け五万三千三百九十
尺を得て是を里數ハ直ハハ先六尺マて割
リ八千五百六十五間を得又六十間マて割リ

326 x 39 = 12714 ㉕

12714 / 13 = 978

㉕ 商人リ藥種十三斤を金三百二十六圓マて買

ひ得たり今三十九斤を買ふハ金何圓を拂ふ
べき哉

答曰九百七十八圓

術曰三百二十六圓ハ三十九斤を掛け一万二
千七百十四圓を得て之を十三斤マて割リ九

〔五〕

$$4-1=3$$

$$\frac{3 \times 60}{4} = 45$$

百七十八圓を得るあり

〔五〕縫匠あり長六十尺の木綿を其の内四分の一を切り取りたり其の残何尺ある哉

答曰四十五尺

術曰分母四の内分子一を引き三を得之より六尺を掛け百八十尺とあるを分母四より割り四十五尺を得るあり

〔五〕小麦九俵の價十八圓ある時ハ二十七俵の價何程ある哉

答曰五十四圓

〔五〕

$$\frac{27 \times 18}{9} = 54$$

〔五〕

$$200 \times 35 = 7000$$

$$\frac{7000}{4} = 1750$$

術曰二十七俵を十八圓に掛け九俵より割り五十四を得るあり

〔五〕酒一桶あり其の三十五分の四を二百圓より賣りしとわ然らば一桶の價何程ある哉

答曰千七百五十圓

術曰二百圓を三十五に掛け七千を得て之を四より割り千七百五十圓を得るあり

〔五〕長七寸幅五寸の瓦を長一丈二尺五寸幅八尺四寸の庭に敷んとするハ瓦何枚を用ゆ哉

答曰三百枚

十三

$$7 \times 5 = 35$$

$$125 \times 84 = 10500$$

$$\frac{10500}{35} = 300$$

十三

$$\begin{array}{r} 2533 \\ -1873 \\ \hline 660 \\ 661 \end{array}$$

術曰七寸は五寸を掛け三十五寸を得又一丈二尺五寸は八尺四寸を掛け一万零五百寸を得之を三十五寸にて割り凡三百枚を得るなり

〔十三〕神武天皇即位紀元二千五百三十三年ハ西洋紀元千八百七十三年ニ當リ然レバ西洋紀元の始リハ日本の何年ニ當ル哉

答曰日本六百六十一年

術曰二千五百三十三年より一千八百七十三年を引キ六百六十年を得之より一を加ヘ六百

六十一年を得るなり

十四

$$\begin{array}{r} 620 \\ -542 \\ \hline 78 \\ 78+1=79 \end{array}$$

十五

$$9-1=8$$

$$8 \times 3 = 24$$

$$24+19=43$$

〔十四〕貌英氏歴史字書ニ曰ク釋迦如来ハ紀元前六百二十年ニ生レ五百四十二年ニ死ンといふ其の年齢何程なる哉

答曰七十九歳

術曰六百二十より五百四十二を引キ七十八を得之より一を加ヘ七十九を得るなり

〔十五〕老婦あり或人其の歳を問ひし我ハ子供を九人持ちたり其内長子ハ我十九歳ニテ産み又末子ハ今年十九歳なり兄弟の歳ハ各三ツ、劣

$$48+19=62$$

$$62-1=61$$

りたりといふ然る時、老婦今年何歳なる哉

答曰六十一歳



術曰子供九人より一人を引
き八を得て是の歳の差三を
掛け二十四を得二十四は末
子の歳十九を加へて長子の
年四十三を得之は十九を加
へ一を引六十一を得るあり

五長三丈幅一丈八尺の部屋の中は幅四尺の羅
紗を敷くは其長何尺なりべき哉

十六

$$\frac{30 \times 18}{4} = 135$$

答曰十三丈五尺

術曰三丈は一丈八尺を掛け四尺にて割り十
三丈五尺を得るあり

十五

$$\frac{360}{24} = 15$$

十七地球の周囲ハ三百六十度より一晝夜より一
自轉をかん然らむ一時ハ何度に移る哉
十四時一晝夜を三

答曰十五度

術曰二十四時を以て三百六十度を割り十五
度を得るあり

十八長三十二間幅十九間の地面あり是を長二十

32x19=608 天

600/25=24 8/25

196x11=2156 无

2156/7=308

五間の地面は換んとするは其幅何間ある哉
答曰二十四間二十五分の八
術曰三十二間は十九間を掛け六百八間を得
て之を二十五間はて割二十四間二十五分の
八を得るなり

十九或人田舎を出立して都へ赴くは百九十六里
行きて算用せしは田舎より都までの里数の十
一分の七ありと云今田舎と都の距離を問ふ
答曰三百八里
術曰百九十六里は十一を掛け二千百五十六

里を得て之を七はて割り三百八里を得るふ
り

三金一圓は付き一年は七銭の利はて四年貸し
利足二百六十六圓を得たり然る時ハ其元金何
程ある哉 〔但當る一圓ハ百銭〕

答曰九百五十圓

術曰七銭は四年を掛け二十八銭を得二十八
銭はて利足二百六十六圓を割り元金九百五
十圓を得るなり

三十二間口五間奥行八間の部屋は疊何枚を敷く

八

7x04=28 三上

266/28=950

西
算
術
問
答
卷
下

廣
山
堂

三十四

$$50 \times 5 = 250$$

$$\frac{250}{0.8} = 312.5$$

三十四 今空を見るは五丈高き所は八寸の鳩あり
又其の上は五尺の鶴あり然るは鶴も鳩も同ド
大なり見ゆるといふ依て鶴の高を問ふ
答曰三十一丈二尺五寸



術曰五丈は五尺を掛け
二百五十丈を得之を八
寸にて割り三十一丈二
尺五寸を得るなり

三十五 一升は三十一銭の酒四斗あり今水三升を混
ぜて賣る時ハ一升付何銭は當る哉

三十五

$$40 + 3 = 43$$
$$40 \times 31 = 1240$$

$$\frac{1240}{43} = 28 \frac{36}{43}$$

三十六

$$\frac{1447}{30} = 48 \frac{7}{30}$$

答曰二十八銭四十三分の三十六
術曰四斗は水三升を加へて四斗三升を得又
四斗は三十一銭を掛け千二百四十銭を得之
を四斗三升にて割り二十八銭四十三分の三
十六を得るなり

三十六 畑の坪數一千四百四十七坪あり之を反に
直せを何程ある哉

答曰四反八畝七坪
術曰千四百四十七坪を三十にて割り四反八
畝と餘り七坪を得るなり

西
算
術
問
答
卷
下

十

廣
山
堂

〔三十七〕

$$12+7=19$$

$$19 \times 75 = 1425$$

$$\frac{1425}{25} = 57$$

〔三十七〕奉公人十二人にて主人より木綿を請取る
 は其の一反の長七十五尺あり然るは奉公人七
 人を増し長二十五尺の木綿を請取るハ反數
 何程ある哉

答曰五十七反

術曰十二人ハ七人を加へ十九人を得是ハ七
 十五尺を掛け千四百二十五を得是を二十五
 にて割り五十七反を得るあり

〔三十八〕或人問ふて曰く我年ハ四十歳子の歳ハ十
 六歳あり然らバ何年前ハ我歳ハ子の歳の九倍

ある哉

答曰十三年

術曰四十より十六を引き二十四を得之を八

にて割り三を得是を十六の内より引き十三

年を得るあり

$$40-16=24$$

$$\frac{24}{8}=3$$

$$16-3=13$$

〔三十九〕商人あり棧木一万四百五十本を百六十九

圓八十一錢二分五厘ハ賣り三十九圓十八錢七

分五厘を儲けたり然る時ハ棧木一本の元金何

程ある哉〔但一圓ハ百錢あり〕

答曰一錢二分五厘

三十九

$$\begin{array}{r}
 169,8125 \\
 -39,1875 \\
 \hline
 130,6250 \\
 130,625 \\
 \hline
 10450 = 125
 \end{array}$$

術曰百六十九圓八十一錢二分五厘より三十
九圓十八錢七分五厘を引き餘り百三十圓六
十二錢五分を一万四百五十にて割り一錢二
分五厘を得るあり

三十一

$$\begin{array}{r}
 722 \times 8 = 976 \\
 976 \\
 12 \overline{) 976} \\
 \hline
 81 \frac{4}{12} = 81 \frac{1}{3}
 \end{array}$$



三十一 高八尺の柱ありて其の影一丈二尺あり
同時に影十二丈二尺の樹あり其の高何尺ある

哉

答曰八丈一尺三分の一
術曰百二十二尺は八を掛
け九百七十六を得之を一

三十一

$$\begin{array}{r}
 120 \times 3 = 360 \\
 360 \\
 6 \overline{) 360} \\
 \hline
 60
 \end{array}$$

丈二尺にて割りて八丈一尺十二分の四を得
之を約して八丈一尺三分の一とあり
三十一 英國の一尋ハ我三尺は當る今百二十尋ハ
我何尺は當る哉（組十間を一丁とせし）

答曰一丁

術曰百二十は三を掛け三百六十尺を得是を
六尺にて割り六十間を得乃ち一丁あり
三十一 大隊の兵士あり其の内九分の二ハ討死
して残兵八百七十五人ありといふ今一大隊の
人数を問ふ

西算新編

廣山堂

三十二

9-2=7

$\frac{875 \times 9}{7} = 1125$

答曰千百二十五人

術曰九より二を引き七を得残兵八百七十五人より九を掛け七にて割り千百二十五人を得るなり

三十三

$\frac{3500 + 1500}{5000}$

3500 × 4 = 14000

三十三東西両村の間の堀幅四尺東村高三千五百石西村高千五百石あり今此の村の石高は應て水を分つ堀の幅各何尺ある哉

答曰東村二尺八寸 西村一尺二寸

術曰三千五百石と千五百石とを加へて五千石を得又三千五百石は堀幅四尺を掛け一万

$\frac{14000}{5000} = 28$

40-28=12

四千を得是を五千石にて割り東村の堀幅二尺八寸を得又四尺より二尺八寸を引き餘り一尺二寸を西村の堀幅とす

三十四佛國の一メートルハ我邦の三尺三寸は

當る然バ三メートルハ何尺は當る哉

答曰一間三尺九寸

術曰三尺三寸は三を掛け九尺九寸を得又九尺九寸を六尺にて割り一間三尺九寸を得るなり

$\frac{33 \times 3 = 99}{\frac{22}{60} = 1 \frac{39}{60}}$

三十五六日は二百十里の路を行く人あり其の割

西算新編

廣山堂

所算
算題
百五

(三十五)
 $365 - 52 = 313$
 $\frac{313 \times 210}{6} = 10955$

合よて一年は何里を行く哉(但一日一年ハ三百六十
年の中ハ五日二曜日あり)

答曰一万九百五十五里

術曰一年の日數三百六十五日より日曜日五
十二日を引き餘り三百十三日は二百十里と
掛け六よて割り一万九百五十五里を得る也

(三十六)或百姓一俵付六十二錢の小麦四十俵を商
人は賣んとせり商人ハ一斤付十六錢の珈琲
と交易せんといふ然らバ珈琲の斤數何程よて

宜き哉

答曰百五十五斤

術曰六十二錢又四十俵を掛り小麦四十俵の
價二千四百八十錢を得之を十六錢よて割り
百五十五斤を得る也

(三十七)一斤付銀七匁の上茶百斤と一斤付銀四匁
の下茶五斤あり今之を平均して賣る時ハ一斤
付銀何匁に當る哉

答曰六匁

術曰七匁ハ百斤を掛け七百匁を得又四匁ハ

西算
算題
百五

(三十七)
 $7 \times 100 = 700$
 $4 \times 50 = 200$

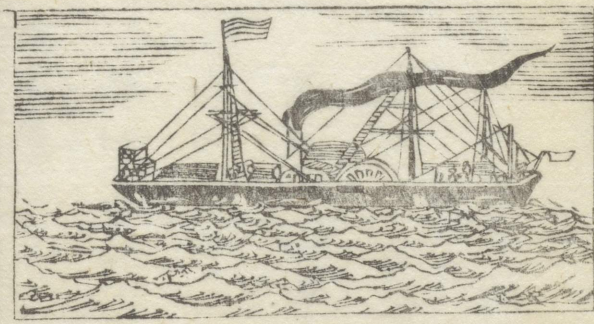
(三十六)
 $62 \times 40 = 2480$
 $\frac{2480}{16} = 155$

百三十一

$$200 + 700 = 900$$

$$100 + 50 = 150$$

$$\frac{900}{150} = 6$$



五十斤を掛け二百匁を得七百匁と二百匁を
 加へ九百匁を得百斤と五十斤とを加へ百五
 十斤を得百五十斤とて九百匁を割り六匁を
 得るなり

〔三十八〕或人七十二里の路を行く小
 其の三分一ハ蒸氣車いんきうくるまとて行き四
 分一ハ蒸氣船いんきうせんとて行き其の餘ハ
 歩行あゆみたりといふ今歩行セー里數
 を問ふ

答曰三十里

〔三十八〕

$$\frac{72}{3} = 24$$

$$\frac{72}{3} = 18$$

$$\frac{24}{18} + 42$$

$$\frac{72}{18} - 42$$

〔三十九〕

$$\frac{771,75}{3} = 257,25$$

$$\frac{257,25}{3675} = 7$$

術曰七十二里を三とて割二十四を得又七十
 二里を四とて割り十八を得二十四と十八を
 加へ四十二を得四十二を七十二里より引き
 三十里を得るなり

〔三十九〕金三千六百七十五圓を三年貸し利足七百
 七十一圓七十五錢を得たり然る時ハ一圓付一
 年何程の利ある哉

答曰七錢

術曰利足七百七十一圓七十五錢を三年とて
 割り二百五十七圓二十五錢を得是を又三千

百三十一

電報

四土

$$1250 \times 4 = 5000$$

$$\begin{array}{r}
 5000 \\
 +1780 \\
 \hline
 6780
 \end{array}$$

六百七十五圓にて割り七錢を得るなり
 四土或人死にる時、金を妻と四人の子供に與
 ふる、妻はハ千七百八十圓、子供はハ一人、付千
 二百五十圓、あり然る、其の人ハ今まで一
 年、二百二十六圓の給金にて二十五年半奉公せ
 といふ、今問ふ奉公せざる前ハ、金何程を持
 ち哉

答曰三千五百六十七圓

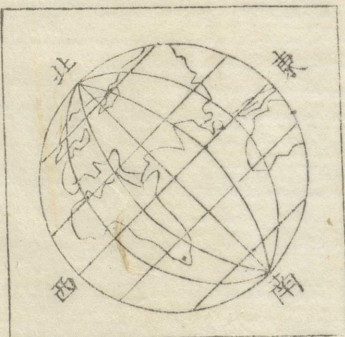
術曰千二百五十圓、四を掛け子供四人の取
 前五千圓を得妻の取前千七百八十圓を加へ

$$126 \times 25,5 = 3213$$

$$\begin{array}{r}
 6780 \\
 -3213 \\
 \hline
 3567
 \end{array}$$

六千七百八十圓を得又百二十六圓、二十五
 年半を掛け三千二百十三圓を得て之を六千
 七百八十圓より引き三千五百六十七圓を得
 るなり

四十二地球の周圍ハ三百六十度、又分てり今一度



を日本の里數に換へて大約二
 十八里五分の一ありといふ然
 ちを一周の里數ハ何程に當
 哉

答曰一万〇百五十二里

四十二

$$28 \times 5 = 140$$

$$140 + 1 = 141$$

$$141 \times 360 = 50760$$

$$\frac{50760}{5} = 8552$$

術曰二十八は五を掛け一を加ふまば百四十
一とある之は三百六十度を掛けて五万〇七
百六十を得五まで割り一万〇百五十二里を
得るなり

四十三

$$\frac{1000}{6} = 166\frac{4}{6}$$

$$\frac{166}{60} = 2\frac{46}{60}$$

四十三亞非利加洲の喜望峰ハ英國尺度まで高千
ブー止の一尺は當日本一何程ある哉
一何程ある哉
答曰二丁四十六間四尺
術曰千を六まで割り百六十六間と餘り四尺
を得又百六十六を六十まで割り二丁と餘り

四十三

$$20 - 1 = 19$$

$$19 \times 30 = 570$$

$$\frac{570}{+100} = 670$$

四十六間を得合せて二丁四十六間四尺とを
四十三或人二十人ハ金を分配する第二番目
の人ハ百圓を與へ其より次第は三十圓宛増し
時ハ一番目の人の金數何圓ある哉
答曰六百七十圓
術曰二十人より一人を引き残り十九人ハ三
十を掛け五百七十圓を得百圓を加へ六百七
十圓を得るなり

四十四或人馬を買ひ其の馬數を言ひ只言ふ
鉄沓七百三十六拵ハれりといふ依て馬數を問

四十四

$$\frac{736}{4} = 184$$

ふ

答曰百八十四匹

術曰七百三十六を四よて割り百八十四匹を得るあり

四十五 清國の楊子江ハ英國の尺度よて幅三千二

百フー卜ありといふ之を日本の里數よるし何

里ある哉（我一尺は二フあり）

答曰八丁五十三間二尺

術曰三千二百を六尺よて割り五百三十三間二尺を得又五百三十三間を六十間よて割り

$$\frac{3200}{6} = 533\frac{2}{3}$$

$$\frac{433}{60} = 7\frac{13}{60}$$

四十六

$$100-1=99$$

$$99 \times 2 = 198$$

$$198 + 4 = 202$$

八丁と餘り五十三間を得合よて八丁五十三間二尺とるあり前の第四十二題を見合は

べし十六丁五間二尺とあるあり

四十六 淺草觀世音ハ百度參りをあり先づ最初

ハ賽錢四文を捧け二度目より次第ハ二文増ハ

ある時ハ百度目ハ何文を捧くべき哉

答曰二百二文

術曰百より一を引き九十九を得九十九ハ二文を掛け百九十八文を得之ハ四文を加へ二百二文を得るあり

四十七

$$202 + 4 = 206$$

$$\frac{100}{2} = 50$$

$$206 \times 50 = 10300$$

四十七前題は依て初度より百度は到り錢の總數
何程と問ふ

答曰十貫三百文

術曰二百二文は四文を加へ二百六文を得又
百度を二はて割り五十を得五十を二百六文
は掛け十貫三百文を得るあり

四十八百二十八里の路を行くは一日は二里増まし
て行き八日はて達れと今問ふ初の日は何里を
行へ哉

答曰九里

四十八

$$3 \times 2 = 6$$

$$15 - 6 = 9$$

$$\frac{228}{8} = 16$$

$$\frac{2}{2} = 1$$

$$16 - 1 = 15$$

$$4 - 1 = 3$$

四十九

$$10 + 1 = 11$$

$$11 \times 10 = 110$$

$$\frac{110}{2} = 55$$



術曰百二十八里を八はて割り十六を得二里
を二はて割り一里とあるを十六より引き十
五里を得是を第四日目の路法と依て四日
の内一日を引き餘り三日は二里を掛け六里
を得是を十五里より引き九里を得るあり

四十九米俵杉形は横置きて其の下積八十俵より
て上積一俵に至る此俵數都合
何俵ある哉

答曰五十五俵

術曰下積十俵は一を加へ十

西算新題

廣山堂

一を得之と十俵と掛け百十俵を得二にて割
り五十五俵を得るあり

〔五十〕斯華爾氏の航海書に清國北京ハ北緯三十
九度五十四分十三秒又日本東京ハ北緯三十五
度四十一分三十秒ありと今兩京緯度の差を問
ふ(題)刻秒一度を六十の分等割一て分を六十秒といふ又

答曰四度十二分四十三秒

術曰五十四分より一分を引き五十三分とあ
し一分乃ち六十秒十三秒を加へ七十三秒と
あし之より三十秒を引き四十三秒を得又五

54'-1'=53' 三
1'=60"
60'+13'=73"
73'-30'=43"

53'
-41'
12'
39'
-25'
14'

39° 54' 13"
-35° 41' 30"
4° 12' 43"

十三分より四十一分を引き十二分を得又三
十九度より三十五度を引き四度を得るあり
〔五十二〕米百俵を以て三百七十五両と賣るは八歩
の利を得たりといふ其利金何程なる哉

答曰三十兩

術曰三百七十五兩は八歩を掛け三十兩を得
るあり

〔五十三〕一斤、付き二貫五百文の砂糖を三貫文と賣
る時ハ百兩は何程の利は當る哉

答曰二十兩

375
0.08
30.00

西算新題

廣山堂

西算惟領百種
是利

廣嶺山堂

五十二

$$\begin{array}{r} 3000 \\ -2500 \\ \hline 500 \end{array}$$
$$500 \times 100 = 20$$

術曰三貫文より二貫五百文を引き五百文を得五百文を百兩に掛け二貫五百文にて割り二十兩を得るなり

五十三

$$2+3=5$$
$$\frac{54}{5}=10\frac{4}{5}$$

五十三父子有り同ト日數にて共ニ働キ金五十四兩を請取りたり但一父ハ一日の給金三兩子ハ一日の給金二兩宛ありといふ其日數を問ふ
答曰十日五分の四
術曰二と三とを加へて五を得五にて五十四を割り十日五分の四を得るなり

五十四牧人有り牛も羊も同ト數にて共ニ二百

五十四

$$\begin{array}{r} 375 \\ 2,875 \\ \hline 6,625 \end{array}$$
$$\frac{265}{6,625} = 40$$

六十五圓にて買ひ得たり但一牛ハ一匹の價三圓七十五錢羊ハ一匹の價二圓八十七錢半あり
半錢（半錢は5）今牛羊各の數を問ふ

答曰牛羊各四十匹

術曰三圓七十五錢と二圓八十七錢半を加へて六圓六十二錢半を得て二百六十五圓を割四十匹を得るなり

五十五或人金を一圓に付一年は四錢の利にて三年貸し元利共ニ九千六百七十六圓八十錢を得たり今問ふ元金何程ある哉

西算惟領百種

電報山堂

西
澤
維
頓
百
種

廣
山
堂

$4 \times 3 = 12$ (五五)
 $1 + 12 = 1,12$

$\frac{9676,80}{1,12} = 8640$

(五五)

$\frac{459 \times 0,8}{3672}$
 $\frac{183,60}{36,72} = 5$

答曰八千六百四十圓
 術曰四錢は三を掛けて十二錢を得一圓は加へ
 て一圓十二錢を得以て九千六百七十六圓八
 十錢を割り元金八千六百四十圓を得るあり
 (五五)元金四百五十九圓を一年は付一圓の利を
 八錢と定て貸し利金百八十三圓六十錢を得た
 り其の年數を問ふ

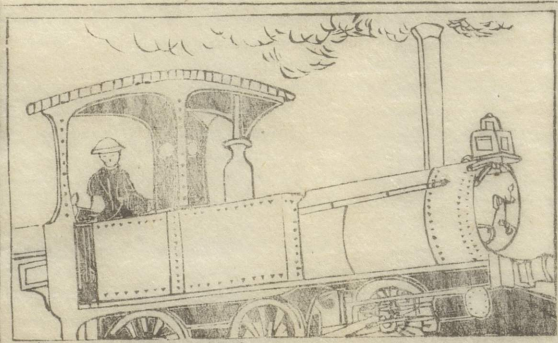
答曰五年

術曰四百五十九圓は八錢を掛け三十六圓七
 十二錢を得て利金百八十三圓六十錢を割り

五年を得るあり

(五五)

$\frac{136}{8} = 17$



(五五)東京新橋より横濱まで大約八里の路法を
 蒸氣車に乗るハ一時間にて達す此の割合にて
 百三十六里の路を何時間にて達する哉

答曰十七時

術曰百三十六里を八にて割り
 十七時を得るあり

(五五)或人一部の書を讀み一日は
 百十二枚宛讀て九日よりて畢れ
 り今一日は八十四枚宛讀む時ハ

〔五十八〕

$$\frac{112 \times 9}{84} = 12$$

何日よて讀畢る哉

答曰十二日

術曰百十二枚の九日を掛け八十四枚よて割り十二日を得るなり

〔五十九〕

$$\begin{aligned} 7+1 &= 8 \\ 8 \times 7 &= 56 \\ \frac{56}{2} &= 28 \end{aligned}$$

〔五十九〕子供小單語を訓るるは初日は一語次の日より一語増よりて七日に到り總數何語ある哉

答曰二十八語

術曰七よ一を加へ八を得八を七よ掛け五十六を得五十六を二よて割り二十八を得る也
〔六十〕假令茶一斤を密柑五十よ換へく又密柑

〔六十一〕

$$\begin{aligned} 84 \times 2 &= 168 \\ \frac{168 \times 50}{70} &= 120 \end{aligned}$$

七十八橙八十四よ換ふべし然るは橙一の價二錢ある時茶一斤の價何程は當る哉

答曰一圓二十錢

術曰八十四よ二錢を掛け百六十八錢を得て密柑七十の價は又百六十八錢よ五十を掛け七十七よて割り一圓二十錢を得るなり

〔六十二〕牛七匹の價は羊四十二匹の價は等しく又羊三匹の價は十圓なりと云依て牛百匹の價を問ふ

答曰二千圓

(六十二)

$$\frac{42 \times 10}{3} = 140$$

$$\frac{140 \times 100}{7} = 2000$$

術曰四十二匹は十圓を掛り三匹はて割り百四十圓を得是を半百匹は掛け七はて割り二千圓を得るあり

(六十三)兄弟三人あり兄ハ今年二十六歳あり妹ハ兄の六歳の時ハ生れ弟ハ兄の九歳の時ハ生れしといふ今妹弟兩人の歳を問ふ

(六十二)

$$26 - 6 = 20$$

$$26 + 1 = 21$$

$$26 - 9 = 17$$

$$17 + 1 = 18$$

答曰妹二十一歳 弟十八歳

術曰二十六より六を引き二十を得之ハ一を加、二十一を妹の歳とせ又二十六より九を引十七を得之ハ一を加へ十八を弟の歳とせ

(六十三)

$$\frac{882 \times 4}{42} = 840$$

(六十三)米四斗入の俵八百八十二俵の代りハ四斗二升入の俵と渡んときハ其俵數何程ある哉

答曰八百四十俵

術曰八百八十二俵ハ四斗を掛け四斗二升はて割り八百四十俵を得るあり

(六十四)

$$15500 \times 25 = 387500$$

$$30 - 25 = 5$$

$$\frac{387500}{5} = 77500$$

(六十四)梨一ツは付二十五文ツハ買ひ三十文宛ハ賣り利分一万五千五百文を儲けたり然らハ其元金何程ある哉

答曰七万七千五百文

術曰二十五文を一万五千五百文ハ掛け三十

六十五

$$\begin{aligned}
 12+1 &= 13 \\
 16+1 &= 17 \\
 13 \times 17 &= 221
 \end{aligned}$$

八万七千五百文を得又三十文より二十五文
を引き九文を得五文より三十八万七千五百
文を割り七万七千五百文を得るあり
六十五間口十二間奥行十六間の家を建てる一
毎に柱一本宛立る時ハ其柱數何本ある哉

答曰二百二十一本

術曰十二の一を加へ十三を得又十六の一を
加へ十七を得十三と十七とを掛け二百二十
一本を得るあり

六十六大工一日の手間代一分三朱ある時ハ三日

働き金何兩を請取るべき哉但四か朱を一兩と分

答曰一兩一分一朱

$$\begin{aligned}
 1 \times 4 &= 4 \\
 4 + 3 &= 7 \\
 7 \times 3 &= 21 \\
 \frac{21}{4} &= 5 \frac{1}{4} \\
 \frac{5}{4} &= 1 \frac{1}{4}
 \end{aligned}$$

六十六

術曰一分は四を掛け三朱を加へ七朱を得七
は三日を掛け二十一朱を得二十一を四より
割り五分と一朱を得五分を四より割り一兩
と一分を得都合一兩一分一朱とあるあり

六十七田地一反の作米一石四斗あるは一町四反

七畝十五歩の作米何程ある哉二反を十畝と

十一歩とを三

答曰二十石六斗五升

〔六十七〕

$$\begin{aligned}
 1 \times 10 &= 10 \\
 10 \times 30 &= 300 \\
 147 \times 30 &= 4410 \\
 4410 + 15 &= 4425
 \end{aligned}$$

$$\frac{4425 \times 14}{300} = 2065$$

〔六十八〕

$$\frac{2214}{123} = 18$$

術曰一反を畝と直して十畝とあり十畝は三十歩を掛け三百歩とあり又一町四反七畝は三十歩を掛けて十五歩を加ふとバ四千四百二十五歩とあり之は一石四斗を掛け三百歩とて割り二十石六斗五升を得るあり

〔六十八〕田地一町二反八畝の作米二十二石一斗四升ありバ一反の作米何程ある哉

答曰一石八斗

術曰二十二石一斗四升を一町二反三畝とて割り一石八斗を得るあり

〔六十九〕

$$\frac{48 \times 50}{8} = 30$$

$$\frac{48 \times 375}{36} = 500$$

〔六十九〕一樽四升八合入の醬油五十樽の代りは一樽八升入の醬油を請取る時ハ樽數何程あるや

答曰三十樽

術曰四升八合は五十樽を掛け八升とて割り三十樽を得るあり

〔七十〕一把四十八文の楨三百七十五把の代り是一把三十六文の楨を取らバ其數何程ある哉

答曰五百把

術曰四十八文は三百七十五把を掛け三十六文とて割り五百把を得るあり

〔七十二〕
 $3268 \times 84 = 174512$
 $\frac{174512}{140} = 1960,8$

〔七十二〕大豆を米と換んとしう大豆一石四斗ハ
 米八斗四升は當るといふ今大豆三十二石六斗
 八升あり時ハ米何石は當る哉

答曰十九石六斗〇八合

術曰三十二石六斗八升ハ八斗四升を掛け千
 七百四十五石一斗二升を得之を一石四斗ハ
 て割り十九石六斗〇八合を得るなり

〔七十三〕大黃四百五十六匁あり是を斤數ニ直し何
 程ある哉〔但四十兩目を一両目と一
 斤と目と一〕

答曰二斤三十四兩目

〔七十三〕
 $\frac{356}{4} = 116$
 $\frac{116}{40} = 2\frac{34}{40}$

術曰四百五十六匁を四にて割百十六兩目得
 之を四十にて割二斤三十四兩目を得る也

〔七十三〕幾那塩目方八匁入の瓶の價三圓ある時ハ
 二圓四十錢あるハ何匁を買得る哉

答曰六匁四分

術曰二圓四十錢ハ八匁を掛け三圓にて割り
 六匁四分を得るなり

〔七十四〕或人黒白二匹の馬を千圓にて買得たり但
 一黒馬の價ハ白馬の價の三分の二ありといふ
 依て各の價を問ふ

〔七十三〕
 $\frac{240 \times 8}{3} = 64$

〔七十四〕

$$2+3=5$$

$$1000 \times 3 = 3000$$

$$\frac{3000}{5} = 600$$

$$\begin{array}{r} 1000 \\ - 600 \\ \hline 400 \end{array}$$



答曰黒馬四百圓 白馬六百圓

術曰二と三とを加へて五を得又千圓を三と掛け三千圓を得之を五より割り白馬の價六百圓を得六百圓を千圓より引き黒馬の價四百圓を得るあり

〔七十五〕上下二種の酒より上酒ハ一升の價四十錢下酒ハ一升の價二十四錢なり今百十二錢にて二種の酒四升を買ふ時ハ各の升數何程あり哉

〔七十五〕

$$40 \times 4 = 160$$

$$160 - 112 = 48$$

$$40 - 24 = 16$$

$$\frac{48}{16} = 3$$

答曰上酒一升 下酒三升

術曰四十錢は升數四升を掛け百六十錢を得其の内百十二錢を引四十八錢を得又四十錢より二十四錢を引き十六錢を得十六より四十八錢を割り下酒三升を得又四升より三升を引き上酒一升を得るあり

〔七十六〕一升は付價五錢の酒一石二斗あり是は水三斗と混て賣る時ハ一升の價何錢なる哉

答曰四錢

術曰一石二斗は水三斗を加へ一石五斗を得

$120+3=150$ 七十
 $120 \times 5 = 600$ 十六
 $\frac{600}{150} = 4$

又一石二斗五錢を掛け六百錢を得六百錢を一石五斗にて割り四錢を得るあり

七十今人集りて書物を分配するは人数と巻數とを知られ只言ふ六巻宛取れば八巻餘る又八巻つゝ取り六巻不足なりといふ依て人数及び巻數を問ふ

答曰人数七人 書物五十巻

術曰後は分る八巻より前は分る六巻を引き殘二巻を得又餘り八巻は不足六巻を加へ十四を得殘二巻にて十四を割り人数七人を得

$7 \times 6 = 42$ $8 - 6 = 2$ 七十
 $42 + 8 = 50$ $8 + 6 = 14$ 七
 $\frac{14}{2} = 7$

又七人は前は分る六巻を掛け餘る八巻を加へ五十巻を得るあり

七十馬ハ一時間五里牛ハ一時間三里宛の割合にて或る路程を同處より出立するは若し馬ハ牛より四時後に出立する時ハ何時よりして牛は追付く哉又其の路程何里ある哉

答曰六時 二十四里

術曰五里より三里を引き二里を得又三里は四時を掛け十二を得十二を二里にて割り六時ハ六より四時を掛け二十四里を得るあり

$5 - 3 = 2$ 七十
 $3 \times 4 = 12$ 八
 $\frac{12}{2} = 6$
 $6 \times 4 = 24$

西
算
術
卷
之
四

廣
山
堂

〔七十九〕

$$10 \times 40 = 400$$
$$400 \times 4 = 1600$$

〔七十九〕硝石十斤有り是を奴は直一何程かる哉〔四
兩一兩一目一丁と四土

答曰千六百匁

術曰十斤は四十兩目を掛け四百兩目を得四

百は四を掛け千六百匁を得るなり

〔八十〕地面有り間口八間よりて奥行を知ら只言

ふ八間を奥行より引けば十九間餘るといふ依

て坪敷を問ふ

答曰二百十六坪

術曰十九間は八間を加へ奥行二十七間を得

〔八十〕

$$19 + 8 = 27$$
$$27 \times 8 = 216$$

〔八十一〕

$$3 \times 6 = 18$$
$$\frac{18}{4} = 4 \frac{2}{4}$$
$$2 \times 36 = 72$$

二十七は八を掛け二百十六坪を得るなり

〔八十一〕六里の路を四人にて三匹の馬は乗り行

んとくるは一人は付何里宛乗るべきや

答曰四里十八町

術曰三匹は六里を掛け十八里を得十八を四

人にて割り四里と餘り二を得二は三十六町

〔三〕里は六町を掛け七十二町を得七十二を四

にて割り十八町を得るなり

〔八十二〕豎横六尺四方を一坪とし豎三間二尺横三

間にてハ何坪なる哉

西
算
術
卷
之
四

三十

龍
峰
山
堂

答曰十坪

〔八十二〕

$$\begin{aligned}
 6 \times 6 &= 36 \\
 (3 \times 6) + 2 &= 20 \\
 3 \times 6 &= 18 \\
 18 \times 20 &= 360
 \end{aligned}$$

術曰六尺は六尺を掛けて三十六を得又堅三間
 六尺を掛け二尺を加へ二十尺を得横三間
 六尺を掛け十八尺を得二十尺は十八尺を
 掛け三百六十尺を得之を三十六にて割り十
 坪を得るなり

$$\frac{360}{36} = 10$$

〔八十三〕堅横四寸九分高二寸七分を一升といふ今堅

四尺九寸横三尺一寸五分深二尺一寸の箱あり

其の内はハ何升を容る哉

答曰五石

〔八十三〕

$$\begin{aligned}
 49 \times 49 \times 27 &= 64827 \\
 49 \times 315 \times 21 &= 324135 \\
 \frac{324135}{64827} &= 500
 \end{aligned}$$

術曰堅横各四寸九分と四寸九分と深二寸七
 分とを掛け一寸四方六面の坪六十四坪八二
 七を得又堅四尺九寸と横三尺一寸五分と深
 二尺一寸とを掛け一尺四方六面の坪三十二
 坪四一三五乃ち一十四坪三六坪五の坪三を得之

石を得るなり

〔八十四〕先は行く人二十五里後より追馳け
 八十里に至りても及ばざる事五里なり追付くまで



の里數何程ある哉

答曰二十里

術曰五里は八十里を掛け四百里を得又二十

五里より五里を引き二十里を得二十里にて

四百里を割り二十里を得るなり

六十五或人一匹は付七十五圓の馬を五匹と又一

匹は付六十八圓の馬を十二匹買ひ共は百十八

圓の利を得て賣らんとするはハ一匹何圓宛は

賣るべきや

答曰七十七圓

$$5 \times 80 = 400$$

$$25 - 5 = 20$$

$$\frac{400}{20} = 20$$

六十五

$$75 \times 5 = 375$$

$$68 \times 2 = 136$$

$$816$$

$$+ 375$$

$$+ 118$$

$$\hline 1309$$

$$\frac{5}{+12}$$

$$\hline 17$$

$$\frac{1309}{17} = 77$$

術曰七十五圓は五匹を掛け三百七十五圓を

得又六十八圓は十二匹を掛け八百十六を得

八百十六圓と三百七十五圓と百十八圓とを

加て千三百〇九圓を得又五匹と十二匹とを

加て十七匹を得十七匹にて千三百〇九圓を

割り七十七圓を得るなり

六十六鶏兎合せて十二頭にて足數三十八本あり

といふ依て鶏兎各の數を問ふ

答曰鶏五羽 兎七匹

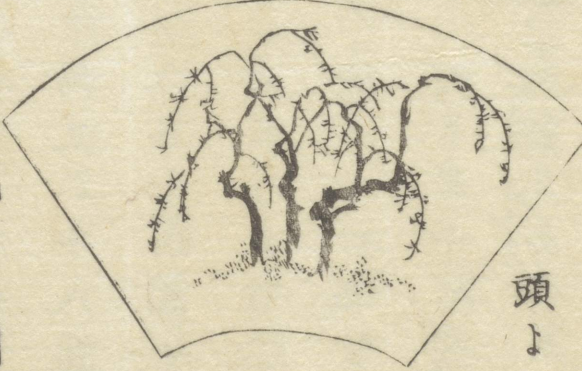
術曰十二頭は兎一匹の足數四本を掛け四十

〔八十六〕

$$\begin{array}{l} 10 \div 2 = 5 \\ 12 \times 4 = 48 \\ 48 - 38 = 10 \\ 12 - 5 = 7 \\ 4 - 2 = 2 \end{array}$$

〔八十七〕

$$198 \times 2 = 396$$



三百九十六間を得之也十八間よて二十二本

八本とちる其の内三十八本を引き十を得又
兎一匹の足數四本より鶏一羽の足數二本を
引き二を得二よて十を割り鶏五羽を得十二
頭より五羽を引き兎七匹を得る也

〔八十七〕長百九十八間の道の兩側
は十八間つゝ、隔て柳を植んと
するは柳何本よて宜き哉

答曰二十四本

術曰百九十八間は二を掛け

を得二十二本は二本を加へ二十四本を得る

あり

〔八十八〕米麦共は百二十俵を六百六十圓よて買得
たり但し米は一俵の價五圓七十五錢麦は一俵
の價五圓ありといふ然る時ハ米の俵數何程な
る哉

答曰八十俵

術曰百二十俵は麦一俵の價五圓を掛け六百
圓を得六百圓を六百六十圓より引き六十五圓
を得又五圓を五圓七十五錢より引き七十五

$$\begin{array}{l} 396 \\ 18 \\ \hline 22 \end{array}$$

$$22 + 2 = 24$$

$$\begin{array}{l} 120 \times 5 = 600 \\ 660 - 600 = 60 \\ 5,75 - 5 = 75 \\ \hline 60 \\ 75 \\ \hline 80 \end{array}$$

〔八十八〕

錢を得七十五錢よて六十圓を割り米の俵數八十俵を得るなり

〔八十九〕

$$\frac{8}{2} = 4$$

$$\frac{20}{4} = 5$$

$$5 - 1 = 4$$

〔八十九〕蝸牛のり高二十尺の柱の上は昇らんとけるは晝ハハ尺宛昇り夜ハ其の半分なり又宛降るといふ然らバ何日よて柱の上に至る哉



答曰四日

術曰ニよて八尺を割り初め四尺を得四尺よて二十尺を割り五を得五より一を引き四日

を得るなり

〔九十一〕人足六百人よて堤を築くは三月よて成就す今三百人を増え時ハ何月よて成就する哉

答曰二月

術曰六百人は三百人を加へ九百人を得又六百人は三月を掛け十八百を得九百より割り二月を得るなり

〔九十二〕或人其の子を問ふて曰汝の歳ハ我歳の二分の一あれとも二十年後ハ我歳の三分の二にあつべし然らバ今年我と汝の歳各何程ある哉

$$600 + 300 = 900$$

$$600 \times 3 = 1800$$

$$\frac{1800}{900} = 2$$

〔九十二〕

$$20 \times 3 = 60$$

$$20 \times 2 = 40$$

$$60 - 40 = 20$$

$$20 \times 2 = 40$$

〔九十三〕

$$13 - 7 = 6$$

$$13 + 8 = 21$$

$$21 \times 6 = 126$$

$$\frac{126}{2} = 63$$

答曰父四十歳 子二十歳

術曰二十年は三を掛け六十年を得又二十年
は二を掛け四十を得四十を六十より引き二
十を得子の歳より二十は二を掛け四十を得
〔九十三〕米俵を下積十三俵より次第は杉形は積揚
け上積八俵は至る今米俵の總數を問ふ

答曰六十三俵

術曰十三俵より七俵を引き六を得又十三は
八を加へ二十一を得二十一は六を掛け百二
十六を得之を二はて割り六十三を得るなり

〔九十三〕

$$14 \times 19 = 266$$

$$1750 \times 10 = 17500$$

$$\frac{17500}{266} = 65 \frac{210}{266}$$

〔九十三〕金銀同體の玉二つあり但し金の價は銀の價

の十四倍又金と銀の重の割合は十九と十の如
くといふ今金の玉を一千七百五十圓は賣れた
銀の玉は何圓は賣るべきや

答曰六十五圓二百六十六分の二百十

術曰十四倍は十九を掛け二百六十六を得又
十は一千七百五十圓を掛け一万七千五百を
得之を二百六十六で割り六十五圓二百六十
六分の二百十を得るなり

〔九十四〕英國の一封度名貨は我邦の四圓五十錢は當

九十四

$$(2 \times 20) + 8 = 48$$

$$48 \times 450 = 21600$$

$$\frac{21600}{20} = 1080$$

と云今二封度ハ失兒林係ハ我何圓は當るべ
 き哉但ニ十一圓兒林係ハ一圓ニ封度

答曰十圓八十錢

術曰二封度は二十を掛け八を加へ四十八失
 兒林係とち四十八を四圓五十錢は掛け二
 万千六百を得之を二十失兒林係封度ニ
 割リ十圓八十錢を得るなり

九十五兵隊三百六十人まで六月の食糧を貯ふ然
 るは五月の末は至リ其の内旅立を殘糧尚殘兵
 五月を育ふは足るといふ今殘兵の人数を問ふ

答曰七十二人

$$6 - 5 = 1$$

$$360 \times 1 = 360$$

$$\frac{360}{5} = 72$$

九十五

$$(13 \times 5) + 3 = 68$$

$$68 \times 13 = 1156$$

$$\frac{1156}{5} = 231 \frac{1}{5}$$

九十六

術曰六月より五月を引き一月を得之を三百
 六十人は掛け五月まで割七十二人を得る也
 九十六水銀ハ水より重き事十三倍五分の三あり
 若水の十七斤は比れ水銀の重き何斤あるや

答曰二百三十一斤五分の一

術曰十三は五を掛け三を加へ六十八を得六
 十八を十三は掛け千百五十六を得之を五は
 て割リ二百三十一斤五分の一を得るなり

九十七百姓父子あり共は耕ハ二十日父一人

みて耕ハ時ハ三十日にて終る今子一人にてハ
何日にて終る哉

九十七

$$30-20=10$$

$$30 \times 20 = 600$$

$$\frac{600}{10} = 60$$

答曰六十日

術曰三十日より二十日を引き十日を得又三十日
より二十日を掛け六百を得之を十日にて
割り六十日を得るなり

九十八百五十人にて一事をふし七月にて成る今
六月にて成るハ人数何程を増はべきや

答曰二十五人

九十八

術曰百五十人より七月を掛け千〇五十を得之

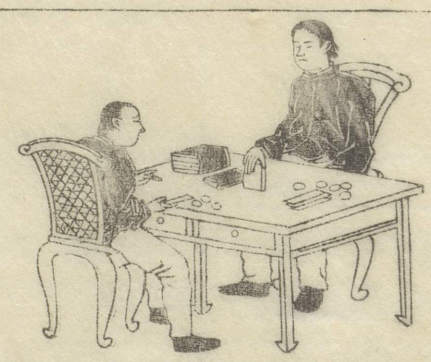
$$150 \times 7 = 1050$$

$$\frac{1050}{6} = 175$$

$$175 - 150 = 25$$

を六月にて割り百七十五人を得其の内百五
十人を引き二十五人を得るなり

教師生徒に
賞金を賜ふ圖



九十九某數あり只言ふ三を掛け
一を加ふきを百あるといふ
其の數何程あるや

答曰三十三

術曰百より一を引き九十九
を得九十九を三にて割り三
十三を得るなり

$$100-1=99$$

$$\frac{99}{3}=33$$

九十九

百教師あり其の生徒を約して曰く汝勉強はる

西算雜題百種畢

廣山堂

百

$$\begin{array}{l} 32 = 4 \\ 8 \end{array} \quad \begin{array}{l} 3+5=8 \\ 12 \times 5=60 \\ 12-4=8 \end{array} \quad \begin{array}{l} 60-28=32 \end{array}$$

月は賞金五圓を與へ不勉強ある月はハ罰金三圓を奪ふべしと然るは生徒學校に在ること十二月より金二十八圓を賜ふといふ依て勉強と不勉強の各の月を問ふ

答曰勉強八月 不勉強四月

術曰三圓は五圓を加へ八圓を得又十二月は五圓を掛け六千圓を得六十圓より二十八圓を引き残三十二圓を八圓にて割り不勉強四月を得又四を十二より引勉強八月を得る也

西算雜題百種畢

官許



日本橋通二丁目

北畠茂兵衛

同二丁目

稲田佐兵衛

芝三島町

山中市兵衛

製造人

野國雅水郎

御原村

萩原重平

西算雜題百種畢

廣山堂

$\frac{32}{8} = 4$
 $3+5=8$
 $12 \times 5 = 60$
 $12-4=8$
 $60-28=32$

月は賞金五圓を與へ不勉強なる月ハ罰金三圓を奪ふべしと然るは生徒學校に在ること十二ヶ月して金二十八圓を賜ふといふ依て勉強と不勉強の各の月を問ふ

答曰勉強八月 不勉強四月

術曰三圓ハ五圓を加へ八圓を得又十二月ハ五圓を掛け六十圓を得六十圓より二十八圓を引き残三十圓を得又四ヶ月を算雜題百種畢

官許



日本橋

同二丁

芝三島

製造人
 野國雅水郎
 御原村
 萩原重平

金

